

ヘルスクレームとは？

健康強調表示(Health Claim)といわれるもので、食品・栄養素などと健康状態の関係についての表示。摂取した場合の効果として、病気のリスクを軽減させる可能性がある旨を表示ができる。FDA(米国食品医薬品局)の審査では、米国の栄養表示教育法に基づいて、その表示の正当性が科学的に明確に証明されていることが求められる

【背景】 全米大麦食品協議会が大麦の血中コレステロール低下による心疾患リスク低減に関するヘルスクレームの請願書をFDAに提出

- ・エビデンス - 10回に及ぶ臨床試験
血中総コレステロール量とLDLコレステロール量が平均約5%
摂取レベルを引き上げた場合、最高15%減少

2006年に請願書の最終案がFDAによって認証

- ・エビデンス - 2006年以降、さらに5回の試験によってこれらの結果が確認





表示の例:

「飽和脂肪やコレステロールを低減した食事の一部に(食品名)のような食品の水溶性繊維を取り入れると、心疾患リスクを低下できる可能性があります。(食品名)1食分で、この効果を得るのに必要な1日分の水溶性繊維を(X)グラム摂取することが出来ます」



表示を使うための条件:

1. 1食当たり0.75グラムの水溶性繊維(水溶性βグルカン)を含まなくてはならない(1日3グラムの水溶性繊維で心疾患リスクを低減する効果を持つことを根拠)
2. 原料の大麦は、規定された量以上の水溶性繊維を含まなくてはならない(乾燥重量比)

全粒大麦(β-グルカン大麦)とそのミール、グリッツ、大麦、精白大麦、大麦フレーク:4%
大麦エキストラクト(Barlv):70%(2008年に追加認定)

3. 水溶性繊維量以外の要件として、1食当たりの脂肪(13.0g)、飽和脂肪酸(4.0g)、コレステロール(60mg)、ナトリウム(480mg)はそれぞれ規定値未満であることが必要